

留学生の声エッセイ 現代政策学部 モルバイ・デビット

日本での旅

皆さん、こんにちは。ハンガリーから来たデビットです。私は城西大学現代政策学部の交換留学生で、期間は1年間になります。

日本に住んでもうすぐ6ヶ月になります。しかし、未だにほぼ毎日新しいことを経験しています。

来る前は少し緊張していました。これほど長い間、自分の国から遠く離れた場所で生活するのは初めてのことだったからです。ただ、城西大学の親切なスタッフと学生のおかげで、日本文化に慣れるのはとても簡単でした。大学には役に立つ日本語の授業があり、文化関連のイベントを知らせてくれたり、パーティーを企画してくれたりします。



川越祭り

新しい大学の友人たちとスカイツリーや水族館を訪れたのはとても楽しかったです。私は少し高所恐怖症なのと、魚が大好きなので、どちらもとても印象に残っています。

それ以外では、運動会、文化祭、クリスマスパーティーと本当に好きでした。多くの新しい出会いがあり、クラスメートとも仲良くなりました。授業が終わった後、皆とゲームをするのも楽しかったです。

大学のイベントに加え、例えば川越の小江戸や有名な川越祭りについて学ぶツアーに2回参加しました。川越祭りについて学び、川越祭り会館を見学した後、友人たちと川越祭りに行きました。忘れられない、美しい経験でした。イチゴの砂糖漬けなど、たくさんのお菓子も食べてみました。

また、大宮で3日間行われた着物を着て能楽の伝統的な舞と謡を練習するイベントにも加わりました。同イベントでは、盆栽村を散策し、盆栽作りのワークショップにも参加しました。植物が大好きなので、自分の小さい盆栽を家に持ち帰るのがとても嬉しかったです。

イベント3日目、私たちは氷川神社前の落ち葉掃きを手伝いました。天気も良かったし、他のボランティアたちとも仲良くなれました。



能楽堂



ホストファミリーの
レストラン

日本人のホストファミリーの家にホームステイする機会もありました。日本の家庭料理をたくさん食べ、布団で眠り、家族のかわいい犬とたくさん遊びました。ホストファミリーととても親しくなれたので、とても幸運だと思います。ホストファミリーのお母さんは、よく私と一緒に過ごそうと誘ってくれて、日本のことを教えてくれます。自由時間には、彼女がボランティアで教えている英語の授業を手伝います。

これらは、日本に来てからの素晴らしい思い出のほんの一部に過ぎません。全部挙げたら何時間もかかります。これは私の人生で最も幸せな時期のひとつであり、これから起こることが楽しみです。

このような良い経験ができたので、大学を卒業したら絶対に日本に戻りたいと思っています。

(2024年3月記)